（様式1）

学校番号	50	学校名	茨城県立石岡第一高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

誠実・自治・博愛

学校の教育目標

1　創立115年の歴史と伝統を受け継ぎ、学科の特色を生かし、地域における教育の中核として「魅力ある学校」「信頼される学校」となる。
2　生徒一人一人が個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持てる学校となる。
3　あらゆる教育活動の場面で、生徒が主体的に行動し、活気に満ちた学校を目指す。

生徒の実態

1　素朴で素直だが、社会や世界に対しての視野が狭い生徒がいる。
2　向上心はあるが、学習習慣が身についていない生徒がいる。
3　将来の進路について深く考えず、安易な進路選択を行う生徒がいる。

保護者の願い

自分としっかりと向き合い、将来の目標を立て、それに向かって努力をしてもらいたい。そのための環境を学校に整えてもらいたい。

道徳教育重点目標

(1)一人ひとりの個性を伸ばし、高度に発展する社会に対応しうる資質や能力を開発するとともに、たくましく生きるための体や豊かな人間性を培う。
(2)地域社会の要望に応え、広い視野を持ち郷土を愛し協力しあう心を育て、社会の有益な形成者となるに必要な資質を培う。
(3)生徒が集団生活における規律と責任を自覚し、自ら進んで実践する自律的生活態度を育成する。
(4)豊かな人間形成に役立つ教育環境の整備・充実を図るとともに、体験的な学習を重視し、望ましい勤労観・職業観を育成する。

地域の実態

人口減少と中心市街地の空洞化が進んでいる。ほとんどの市民が参加する石岡のおまつりが観光面と地域コミュニティの形成に重要な役割を果たしている。

各教科・科目

国語	様々な文章を読み、ものの見方・考え方を深めながら、心情を豊かにし、よりよい人間形成をはかる。
地歴	文化の継承や創造、社会の発展についての学習を通して、共同体の一員としての自覚を持たせる。
数学	様々な事象を数学的に扱い、抽象的思考能力の育成を目指す。
理科	人間と自然の相互の影響力について科学的な考察力を養う。
保体	健康・安全等の知識と理解と実践を通して明るく豊かな生活が送れる能力・態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛する心情を育て、豊かな情操を養う。
外国語	言語や文化への関心を深め、視野を広げ、異文化を理解し尊重する態度を育てる。
家庭	家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解させるとともに、男女が協力して家庭や社会を築いていく態度を育てる。
情報	情報に関する知識と技能の習得を通して、情報化社会におけるものの見方・考え方を養う。
総合的な探究の時間	人間・社会・自然について知識を深め、地域の課題に対し自己の役割を考える。他者とのコミュニケーションを通じて自己形成を図る。職業について理解し、自己の進路に向けて努力する。
専門	(農業)授業・実習を通し、自然に親しむ態度を養うと共に、社会人としての必要な勤労・奉仕の精神を涵養する。

特別活動

ホームルーム活動

・他者の人権や生命を尊重して協力し合える態度を育成する。
・社会のルールやマナーの意義を理解し、自らの行動に責任を持てるようにすると共に、自分の将来に関する希望の実現に向けて粘り強く行動する態度を養う。
・生活の自律
・公共の精神の育成
・進路の決定と社会性の涵養

公民科

公共

・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を養う。
・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、各国が相互に主権を尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

生徒指導

・挨拶や受け答えができるように指導する。
・高校生らしい服装容儀を指導する。
・時間を守る態度を指導する。
・授業を受ける態度を育成する。
・ルールやマナーを守る態度を指導する。
・社会の一員としての自覚を養う。

家庭との連携

・進路選択について、保護者と生徒の意思疎通を図り、納得のいく選択ができるように情報提供を行う。
・生徒の生活の様子について、家庭への連絡を密にし、学校と保護者が生徒を共に育てるパートナーとしての関係を築く。

地域社会との連携

・地域の様々な機関や人材を活用して、講演会などを実施することにより、「安全への意識」、「ルールやマナーを守る意識」、「より良い進路選択」、「社会の一員としてのあり方」などについて、意識を高める。